

## 第二章

### 調査対象団体との協議等

# 1.調査対象団体との協議等

県は、調査対象団体の現状把握、仮説の想定及び検証、より効果的で実効性のある保健事業について検討を行うため、下記日程にて協議等を実施した。

議題	日時	場所	参加者
事業説明会	平成30年8月6日（月）	福岡県庁行政棟 地下2号会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象団体 （大牟田市、中間市、小郡市、須恵町、岡垣町、みやこ町、吉富町）</li> <li>実施市町管轄保健福祉（環境）事務所</li> <li>福岡県医療保険課</li> <li>福岡県健康増進課</li> </ul>
調査対象団体 訪問と ヒアリング 1回目	平成30年10月24日（水）	大牟田市 小郡市 岡垣町 （各庁舎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象団体 （大牟田市、小郡市、岡垣町）</li> <li>南筑後保健福祉環境事務所</li> <li>宗像・遠賀保健福祉環境事務所</li> <li>福岡県医療保険課</li> </ul>
	平成30年10月31日（水）	みやこ町 中間市 （各庁舎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象団体 （みやこ町、中間市）</li> <li>京築保健福祉環境事務所</li> <li>宗像・遠賀保健福祉環境事務所</li> <li>福岡県医療保険課</li> </ul>
	平成30年11月1日（木）	須恵町 吉富町 （各庁舎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象団体 （須恵町、吉富町）</li> <li>粕屋保健福祉事務所</li> <li>京築保健福祉環境事務所</li> <li>福岡県医療保険課</li> </ul>
調査対象団体 訪問と ヒアリング 2回目	平成31年1月31日（木）	吉富町 （庁舎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象団体 （吉富町）</li> <li>京築保健福祉環境事務所</li> <li>福岡県医療保険課</li> </ul>
	平成31年2月1日（金）	大牟田市 岡垣町 （各庁舎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象団体 （大牟田市、岡垣町）</li> <li>宗像・遠賀保健福祉環境事務所</li> <li>福岡県医療保険課</li> </ul>
	平成31年2月4日（月）	中間市 みやこ町 （各庁舎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象団体 （中間市、みやこ町）</li> <li>宗像・遠賀保健福祉環境事務所</li> <li>京築保健福祉環境事務所</li> <li>福岡県医療保険課</li> </ul>
	平成31年2月8日（金）	小郡市 須恵町 （各庁舎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象団体 （小郡市、須恵町）</li> <li>北筑後保健福祉環境事務所</li> <li>粕屋保健福祉事務所</li> <li>福岡県医療保険課</li> </ul>
事業提案 説明会	平成31年2月25日（月）	吉塚合同庁舎 604B会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象団体 （大牟田市、中間市、小郡市、須恵町、岡垣町、みやこ町、吉富町）</li> <li>粕屋保健福祉事務所</li> <li>宗像・遠賀保健福祉環境事務所</li> <li>北筑後保健福祉環境事務所</li> <li>南筑後保健福祉環境事務所</li> <li>京築保健福祉環境事務所</li> <li>福岡県医療保険課</li> </ul>

(1) 事業説明会

【目的】本事業を進めるにあたり、県、調査対象団体及び受託業者で、本事業の位置づけや方向性、事業実施にあたっての具体的な作業等について共通認識を持ち、また、他の調査対象団体と意見交換を行うことで自市町の課題等を把握することを目的として実施。

【目標】

- ①調査対象団体が事業内容について把握することができる。
- ②自市町の客観的データ等を把握することができる。
- ③調査対象団体の保健事業の取組について情報交換することができる。
- ④仮説を想定するための調査対象団体の状況を県や受託業者が把握することができる。

調査対象団体	把握している課題、取り組むべきこと
①大牟田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 塩分の摂取量が多く高血圧が多い傾向にある。</li> <li>• がん検診、特定健診ともに受診率が低い状況にある。</li> <li>• 特定健診のうち個別健診について、受診率向上のためのアプローチ方法が課題である。</li> </ul>
②中間市	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 健康教室を実施しているが、新規の参加者が増えず苦慮している。</li> <li>• 個々の被保険者に応じた未受診者対策を実施しているが、健診受診率が低い状況。</li> </ul>
③小都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若年者健康診査の対象年齢の引き下げの検討。</li> <li>• 重症化予防の取組強化。</li> <li>• 地域の詳細な状況の把握ができていない。</li> <li>• 高血圧が多い傾向にある。</li> </ul>
④須恵町	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特定健診、がん検診ともに受診率が低い状況にある。</li> <li>• 血圧が高めの地区があると感じている。</li> <li>• 介護との連携が必要。</li> </ul>
⑤岡垣町	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特定健診未受診者を対象とした重症化予防に力を入れているが、医療機関との連携が十分でない。</li> <li>• 介護予防を含めたサポーターやリーダー養成研修を行っているが、自主組織化が難しい。</li> <li>• KDBシステムの活用が十分でない。</li> <li>• 保健指導につなげるためにデータを細分化し特徴を見つける必要がある。</li> </ul>
⑥みやこ町	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特定保健指導は全員に面談しているが、指導側のスキルアップが必要。</li> <li>• 75歳以上の保健指導についても必要だと感じている。</li> <li>• 健康づくり推進員の養成が必要である。</li> </ul>
⑦吉富町	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 重症化予防の取り組みを行っているが、医療機関との連携が十分でない。</li> <li>• 特定健診未受診者のうち治療中の者への働きかけが十分でない。</li> </ul>

調査対象団体	本事業で得たいと考えていること
①大牟田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個別の医療機関との連携につながる分析。</li> <li>• 住民の健康意識の変化につながる保健事業。</li> </ul>
②中間市	<ul style="list-style-type: none"> <li>• KDBシステムのさらなる活用と、詳細な分析。</li> <li>• 市全体及び地域ごとの分析。</li> </ul>
③小郡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 健康づくりを地域と共同実施するための分析。</li> </ul>
④須恵町	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 健（検）診受診率の向上につながる保健事業。</li> <li>• 行政と医療機関との連携につながる分析。</li> </ul>
⑤岡垣町	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 行政と医療機関との連携体制構築につながる分析。</li> <li>• 特定健診未受診者を対象とした重症化予防の充実。</li> </ul>
⑥みやこ町	<ul style="list-style-type: none"> <li>• KDBシステム等により、町全体及び個別データを保健事業等に活用するための支援。</li> </ul>
⑦吉富町	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療機関との連携に活用できる資料の作成方法。</li> <li>• 既存のデータをさらに活用する方法。</li> </ul>

(2) 調査対象団体へのヒアリング（1回目）

事業説明会で得た情報やKDBデータ、その他の各団体が保有する情報について分析を行い、各団体の分析結果を踏まえたうえで、ヒアリングを実施した。

ヒアリング項目

- ①各種データの分析結果から導き出した仮説の想定及び検証について
- ②今後具体的にデータ分析を行うための、地区割りや男女別等について
- ③保健事業の実施状況について

大牟田市

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①各種データの分析結果から導き出した仮説の想定及び検証について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説については市の認識と一致しており、当該仮説に基づき高血圧症と糖尿病のデータを地区毎に分析する。</li> <li>・高齢化率が35.9%と高く、事業参加者の中心が高齢者となっている。40～60歳代にも魅力のある事業を実施するためのデータが必要。</li> <li>・運動教室等への事業参加期間は運動継続できるが、事業終了後の継続が難しく、継続を意識づけできるようなデータが必要。</li> </ul>
②今後具体的にデータ分析を行うための、地区割りや男女別等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護との連携を踏まえ、地域包括支援センターの設置区域（6か所）で分析。</li> </ul>
③保健事業の実施状況について	<p>【部門間での保健事業内容の共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり部門では、事業の企画を地域とともに進めており、企画内容については、国保部門でも把握している。</li> </ul> <p>【特定健診】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診者のうち、集団健診受診者は1割、個別健診受診者は9割という状況である。平成30年度は、特定健診の意味に重きを置いて啓発している。</li> </ul> <p>【健康づくり事業等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動教室やスロージョギング等、運動を取り入れた健康づくりのための事業を各部門で実施している。 （運動教室：60名×1回）</li> <li>・地域での健康力UP事業の推進に力を入れていきたい。</li> <li>・食生活改善のため、栄養教室を実施している。 （栄養教室：20名×2回）</li> <li>・まちづくり協議会が実施する事業との連携強化を考えている。</li> </ul>

中間市

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①各種データの分析結果から導き出した仮説の想定及び検証について	<ul style="list-style-type: none"> <li>心疾患、脳血管疾患が多い認識は市でもあったため、仮説に基づいた脳血管疾患をターゲットにした事業実施は必要と考える。</li> <li>医療費分析では、一人当たり医療費が65歳以上は下がるが、40歳代は上昇している。</li> <li>と認識しており、その要因等が分かるような分析が必要。</li> <li>各疾患の罹患時期等の年齢分岐点に関する分析が必要。</li> <li>脳血管疾患の男女別の割合を示すデータや、高齢化の進んでいる地域で活用できるデータ等も必要。</li> </ul>
②今後具体的にデータ分析を行うための、地区割りや男女別等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区分けは行わず、年齢別（40歳～5歳刻み）で分析を行う。</li> </ul>
③保健事業の実施状況について	<p>【健康教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師講話、保健センターでの開催等工夫しているが、参加者の増加につながっていない。</li> <li>特定健診結果を受けて、健康教育等個別案内通知を実施予定。</li> </ul> <p>【介護部門との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区からの健康教室の実施やその内容に関する要望については、サロンや社会福祉協議会とタイアップして対応している。</li> <li>街づくり協議会及び協議体は小学校区で進められている。南校区は高齢化率が高い状況。「おひとり様の会」等のニーズが高い地区もある。</li> </ul>

小郡市

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①各種データの分析結果から導き出した仮説の想定及び検証について	<ul style="list-style-type: none"> <li>高血圧への対策が必要との仮説については、市の認識と一致しており、当該仮説に基づいた事業実施は必要と考える。</li> <li>高血圧対策として行っている、食生活推進協議会の事業に使用できるデータ及び、事業効果を測る具体的な評価方法の提示が必要。</li> </ul>
②今後具体的にデータ分析を行うための、地区割りや男女別等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校区の8地区で分析。</li> </ul>
③保健事業の実施状況について	<p>【食生活推進員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食生活推進員の活動は活発である。</li> <li>塩分測定計を購入し、講話等を行う際に活用しているが、今まで活動において測定したデータの蓄積はできていない。</li> </ul> <p>【健康教育等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室等の集団へのアプローチではなく、個別のアプローチが中心となっている。</li> <li>地区ごとの自主的な運動教室が実施されている。（22教室）</li> </ul>

須恵町

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①各種データの分析結果から導き出した仮説の想定及び検証について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説の想定により、ロコモやフレイルに課題があることを再度認識した。</li> <li>・市民の健康に関する情報について、地区ごとの特徴が示せる資料が必要。</li> <li>・年代や男女別等、カテゴリーごとの分析データが必要。</li> </ul>
②今後具体的にデータ分析を行うための、地区割りや男女別等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区の3地区で分析。</li> <li>・第一小学校区は人口が多い。第三小学校区は単身高齢者が多い。</li> </ul>
③保健事業の実施状況について	<p>【健康教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度から、メタボ該当者及び血圧（130/180以上）が高い者を対象に健康教育の形で集団保健指導を実施している。</li> <li>・イベント等で、体組成計を活用した健康相談を実施している。</li> </ul> <p>【介護予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三小学校区は、高齢化は進んでいるが介護予防事業が盛んではない。介護予防事業を役場近くで開催しているが、参加率は低い。</li> <li>・ロコモ推進員を設置しているが、活動は活発ではない。</li> </ul>

岡垣町

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①各種データの分析結果から導き出した仮説の想定及び検証について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高血圧と脂質異常への対策が必要との仮説については、町の認識と一致しており当該仮説に基づいた事業実施は必要と考える。</li> <li>・海岸沿いは塩辛い食べ物の摂取が多い傾向にあると感じている。</li> <li>・介護認定において男性は要介護3～5で脳血管疾患が多く、女性は要支援が多い印象。</li> <li>・出前講座のニーズ等を把握し、現行の資料に付加できるデータが必要。</li> <li>・年齢毎の医療費や男女別の健康寿命に関するデータ分析が必要。</li> </ul>
②今後具体的にデータ分析を行うための、地区割りや男女別等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館設置区分の3地区（東部、中央、西部）で分析。</li> </ul>
③保健事業の実施状況について	<p>【健康教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座のメニュー一覧をもとに、地区からの要望により実施している。</li> <li>・65歳以上の参加者が多い。</li> </ul> <p>【健康に関する講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関節、骨粗しょう症の講座を実施した。</li> </ul> <p>【食生活推進員、健康運動推進員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に設置しているが、活動状況は地域ごとに異なる。</li> </ul> <p>【脂質異常に関する対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果説明会にて説明し、医療機関につないでいるが、未治療者が多い状況。</li> </ul>

みやこ町

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①各種データの分析結果から導き出した仮説の想定及び検証について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高血圧と肥満による心疾患や骨折への対策が必要との仮説については、町の認識と一致しており、当該仮説に基づいた事業実施は必要と考える。</li> <li>• 高齢化率や特定健診受診率は、旧3町で算出しているが、高血圧の状況等については、地区ごとの把握ができていないため、分析が必要。</li> <li>• 骨折の原因は「家の中での転倒」が多いと感じている。</li> <li>• 山間部では漬物文化があり、塩分摂取が多い。</li> <li>• 同じ農業従事者の多い地区でも、豊津・勝山と犀川では機械化と手作業等違いがあると感じており、疾病構造にも影響していると考ええる。</li> <li>• 脂質異常症は、糖質の過剰摂取（果物や乾もち等の保存食）が影響していると考えられるため、食への意識改善につながる事業も必要。</li> <li>• 地区毎の高血圧及び介護の状況の分析を行い、効果的な運動療法や食事療法を検討する。</li> </ul>
②今後具体的にデータ分析を行うための、地区割りや男女別等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 旧3町（勝山、犀川、豊津）の3地区で分析。</li> </ul>
③保健事業の実施状況について	<p>【健康教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区の公民館からの要望により健康教室を実施している。</li> <li>• 食事や運動に関する内容が多い。</li> <li>• 地区別の特徴は把握できていない。</li> </ul> <p>【健康推進員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 組織はあるが高齢化が進んでいるため、今後の体制について検討が必要。</li> </ul>



吉富町

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①各種データの分析結果から導き出した仮説の想定及び検証について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高血圧、脂質異常症は早期受診し、薬物療法を行えばある程度コントロールできるため、個別アプローチを行い早期受診につなげている。</li> <li>• 現在、糖尿病重症化予防事業に力を入れており、医療機関との保健指導・栄養指導等に関する連携強化を図るための資料が必要。</li> <li>• 糖尿病重症化予防の推進のための関係各課及び医療機関と情報を共有するための資料が必要。</li> </ul>
②今後具体的にデータ分析を行うための、地区割りや男女別等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 規模が小さいため、地区で分けるのではなく、医療機関や庁内部門間での連携に着目した分析を行う。</li> </ul>
③保健事業の実施状況について	<p>【健康教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 運動教室は年に1回コースで開催している。教室で学んだことを地域のサロン等で実施している人も多い。</li> <li>• 以前は、多くの健康教育等を行っていたが、現在は、個別のアプローチを強化することで効果を高めている。また、町の状況についても自主活動グループ等へ情報を還元している。</li> </ul> <p>【地域サロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 運動や健康体操を実施している。女性は複数の事業に参加している人も多いが、男性の参加は少ない。</li> </ul>

(3) 調査対象団体へのヒアリング(2回目)

下記の内容について、各市町と協議を実施した。

①地区別や年齢別等のデータ分析について

②保健事業の提案内容についての実現可能性や方向性について

大牟田市

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①地区別や年齢別等のデータ分析について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別のデータはグラフにして提供してほしい。</li> <li>→地区別にグラフ化を行い、見やすく提示する。</li> </ul>
②保健事業の提案内容についての実現可能性や方向性について	<p><b>【歯・口腔の健康づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周病検診は、特定健診の集団健診実施に合わせ、3回実施しており、特定健診の会場では、待ち時間が生じるため、情報提供は有効と考える。</li> <li>・特定健診の前年度受診者に対して、歯周病検診の無料受診券を送付している。当該年度受診者についての受診体制について検討する必要がある。</li> <li>・歯周病に関連するデータ「糖尿病」「メタボ」「心・脳血管疾患」等をまとめて記載しているものが分かりやすいため、情報提供時に工夫する必要がある。</li> </ul> <p><b>【健康づくり料理講習会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から、市の管理栄養士が関わり内容検討の上、食生活推進協議会とともに事業を実施しており、参加者からは好評を得ている。</li> <li>・情報提供のみではなく、健康部門と連携し、食生活改善に関する取組の実施も必要と感じている。</li> </ul> <p><b>【地域の健康課題展示】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブース設置は難しいため、資料の配布及び掲示に変更する。</li> <li>・フレイル予防情報について追加する。</li> <li>・ジャー坊の利用規定については、細かく設定されているため、どのように使用するか等について検討。</li> </ul> <p>→大牟田市より利用規約等の提供有。</p> <p><b>【運動教室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィットネス利用後も運動を続けられる取組が必要であり、他課が取り組んでいる「スロージョギング」「プラスウォーキング」とのタイアップの検討が必要。</li> <li>・事業評価をどのように実施するか検討が必要。</li> <li>・ハイリスクアプローチとしてのフィットネス事業の利用や、ポピュレーションアプローチとしての住民に対する情報提供等、周知方法を検討する。</li> </ul>

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①地区別や年齢別等のデータ分析について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若年者を対象としたわかば健診のデータについては、提供する方向で検討。</li> <li>→集計期間やデータ分析の日程を考慮し、わかば健診のデータについては分析を実施しないこととなった。</li> </ul>
②保健事業の提案内容についての実現可能性や方向性について	<p>【市の特徴や性別に応じた情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ポスターは、ドラッグストアや公民館に掲示しており、がん検診と特定健診を兼ねたものを作成している。わかば健診のポスターは作成していない。わかば健診についてはチラシを配布している。</li> <li>• わかば健診の受診者は120～130人程度であり、そのうち国保被保険者は30数名である。</li> <li>• 医療機関へのポスター掲示は実施済。</li> </ul> <p>【サロン等地域の集いとコラボした健康教室開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• まちづくり協議会が開催するおひとりさまの集いは、高齢化率の高い中間南小学校区で実施している。</li> <li>• サロンは現在、だれでも参加できる状況となっており、後期高齢者だけでなく、国保の被保険者も参加可能である。認知症サポーターの養成も行っている。</li> <li>• 今年5つの小学校区すべてで福祉部が立ち上がり、将来的には全校区でおひとりさまの集いを実施する予定。</li> <li>• サロンは自治会単位で29カ所（60カ所中）実施しているが、サロンとおひとりさまの集いは連動しておらず、サロンのないところでも実施している。</li> <li>• 事業における課題は「参加者を増やす・広める」ことであり、事業を継続できるか、参加者を増やし、どのように広めるかが難しい。飽きさせないための情報提供ができれば良いと思う。</li> <li>• 介護と国保のコラボ事業の提案は可能と考える。</li> <li>• 生活支援コーディネーターに、健診の重要性を情報提供し、周知することも可能。</li> <li>• おひとりさまの集いに健康課が参加し、健康教育を実施する等の提案も可能。</li> </ul> <p>【健康づくりサポート教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 特定健診結果の有所見者のうち40～60歳の者を対象としたい。</li> <li>• 健康教室を夜間に開催したこともあるが、特定健診結果も郵送で求められることが多く、参加者が少ない状況である。</li> <li>• 女性の健康に問題があるという感覚が低く、データから見ても重症度の高い脳梗塞等の男性へのアプローチが必要と考える。</li> <li>→当初は女性に特化した内容としていたが、男性も含めた事業提案を検討する。</li> </ul>

小郡市

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①地区別や年齢別等のデータ分析について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3枚目の運動習慣の各地区等の特徴に関する記載について、「半数以上」「約半数」といった表現となっているので、統一してほしい。</li> <li>→数値を記載する。</li> <li>・高血圧が心疾患や脳血管疾患につながることを示せるデータや説明資料が必要。</li> <li>→地区毎では人数が少なく、外れ値等が出る可能性があるため、提示の方法を検討する。</li> <li>・禁煙教育については、「禁煙サポート薬局」を「卒煙サポート薬局」に変更する。</li> <li>・禁煙教育にCOPDデータを追加する。</li> </ul>
②保健事業の提案内容についての実現可能性や方向性について	<p>【食生活推進員へのアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活推進員の活動実績を積み上げていき、地域住民からの声を集めることで、モチベーションが上がるのではないかと。</li> <li>→事業提案に盛り込む。</li> <li>・地域の情報を食生活推進員が収集し、その収集された情報から市の担当者が把握できることを集積し、今後の事業に活かしていきたいと考えている。</li> <li>・食生活推進員は、本年度男性が1人加わったが、女性が多い。</li> <li>・高齢化が進んでいるため、新たに食生活推進員として活動する者を増やすことが課題であり、そのための講座の充実を本事業で図りたいと考える。</li> <li>・食生活推進員への研修は、年3回実施している。また、視察研修も実施している。本事業で提供される資料やデータについては、研修で活用できる。</li> <li>・レシピ等を配布し、その配布数をカウントすることで、地域の興味を知る情報ツールとして活用できる。</li> </ul> <p>【運動啓発広報事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館でのサロン活動は、ここ数年で立ち上がっている。</li> <li>・マラソン教室（走り方に関する内容）を年4回スポーツ振興課が実施しているため、その教室にて情報提供を行うことは可能。</li> <li>・特定健診で「わいわいクラブ」の情報提供をする際に、本事業により提供される分析結果を提供できる。</li> </ul>

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①地区別や年齢別等のデータ分析について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3枚目に脂質異常のデータについても、追記してほしい。</li> <li>→脂質異常症に関連した地区別のデータを追加する。</li> </ul>
②保健事業の提案内容についての実現可能性や方向性について	<p>【特定健診に係る集団保健指導の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の集団健診（13日間）のうち、3日間で骨密度健診を実施している。骨密度測定は、女性へのアプローチとして効果的と感じている。</li> <li>・特定保健指導を実施する場所は狭く、身体を動かすのは難しいため、身体を大きく動かさないロコチェック等について取り入れたいと考える。</li> <li>・次年度、フードモデルを購入予定。</li> <li>・集団保健指導を地区別に実施するのは難しいため、資料の作り方（地区別のデータを1つの資料に組み込む等）の工夫が必要。</li> </ul> <p>【地区等の特徴に応じた情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から、町の広報誌に健康のコラムを掲載している。地区別の情報は、コラムに活用できると考える。</li> <li>・校区のイベントにて、骨密度測定や血圧測定、体組成測定を3年くらい実施している。今後、保健師等の専門職が減ることもあり、事業をどのように継続するか悩んでいる。測定した者にはグッズを配布するなど、参加者の増加を図っている。</li> <li>→簡単にできるフレイル測定の実施や、今回の地区別の情報をクイズ形式にする等、参加者の待ち時間を、専門職が関わらずに活用できる工夫が必要。</li> </ul> <p>【運動習慣対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の集団健診会場として各区の小学校や公民館を利用している。広い会場を利用する時には、ブースの設置が可能。</li> <li>・100日チャレンジの情報提供部分（A4・1枚程度の紙面）に運動習慣のきっかけとなるような内容を追加したい。</li> <li>・記録用紙とアンケート用紙を一体化している。今までの参加人数は把握しているが、参加後の継続状況は把握できていない。参加終了後の体重管理と、運動の継続ができるような事業にしたい。</li> </ul>

ヒアリング項目	ヒアリング結果
<p>①地区別や年齢別等のデータ分析について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2枚目の一人当たり医療費の記載部分に医療費が月額と分かるように注釈を記載して欲しい。</li> <li>→注釈を入れ対応。</li> <li>• 2枚目のフレイル記載部分が青枠で囲まれていることに違和感がある。骨折の医療費構成割合で示すことがフレイルになるのか。医療費は何を基準に分類しているのか。</li> <li>→医療費構成割合は、中分類で疾患名を分けて記載している。フレイルはまだ疾患名としてICD10に含まれておらず、フレイルという概念はあるが、これが該当疾患というものがない状況。</li> <li>→色で分けて記載していることに違和感があるとのことなので、全てを白抜きとする。</li> <li>• 本年度、町で調査した健康増進計画のアンケート結果については、確認後可能であれば提供する。</li> </ul>
<p>②保健事業の提案内容についての実現可能性や方向性について</p>	<p>【出前講座メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 出前講座は、地区からの要望により実施している。希望に沿った内容としながら、その中の地区毎の情報を追加することは可能。</li> </ul> <p>【受診勧奨者に医師による講演会を紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 年2回医師による講演会を実施している。</li> <li>• 講演会の周知は、広報及び特定健診結果で基準値を超える方へ個別通知を実施しているため、対象者への案内はできると考える。</li> <li>• 講演する医師に、本事業により提供される町の地区ごとの状況を情報提供し、講演内容にも反映して頂く。</li> </ul> <p>【生活習慣改善教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 特定健診受診者を対象者として、実施している。委託事業だが、1回目の講話は町の職員が実施しているため、その際に本事業で提案される生活習慣病のデータ分析結果等に関する情報を追加して実施可能。</li> </ul> <p>【ウォーキング大会・楽健会ウォーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 30年度に実施したスタンプラリー事業については、廃止を含め検討を行っている。</li> <li>• 「楽健会ウォーキング」「散歩で健康大作戦」は今後も実施予定であり、本事業の反映は可能。</li> </ul> <p>→当初の事業提案がスタンプラリーについての記載となっており、ウォーキングに関する情報提供について記載を見直す。</p> <p>【COPD予防啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3～4年前から、健診結果説明会時に簡易肺機能検査を実施しているが、データ等の蓄積はできていない。</li> <li>• 「まつりおかがき」（年1回）にて、健康度測定及びCOPD啓発のために、スパイロメーターを使用し肺機能検査を実施している。測定人数は把握できているが、データ等の蓄積はできていない。</li> <li>• 上記検査時に、情報提供できる資料が必要。</li> </ul>

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①地区別や年齢別等のデータ分析について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区毎のデータ等の比較対象として、県のデータが欲しい。</li> <li>→今後、県全体のデータについても分析していく。</li> <li>• データの出典等を明確にしてほしい。</li> <li>→データの出典及び言葉の定義等については、今後まとめて記載する。</li> </ul>
②保健事業の提案内容についての実現可能性や方向性について	<p>【脱メタボ対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各地区において健康教室等を実施している。対象者に応じ、平日だけでなく、土日に開催している地区もあり、内容により実施時間が異なる。</li> <li>• メタボに該当する人のうち、高血圧や心疾患・脳血管疾患に該当する者の割合等を分析し、教室に活用。</li> <li>• 運動教室については、室内外で実施している。</li> </ul> <p>【家庭血圧測定の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 家庭血圧計は、健診を受けて高血圧に該当する人は持っていることが多いため、家庭での測定の習慣づけと、血圧計を正しく活用する意識づけが必要。</li> <li>• 結果説明会等で活用できる地区別データ等が必要。</li> </ul> <p>【サロンとのコラボ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3町の合併を機に自主組織活動に移行している。勝山地区は自主活動できているが、他は活発ではない。</li> <li>• 現在、行政区毎のサロンの立ち上げ支援を実施している。健康運動指導士が3か月間介入している。</li> <li>• サロンは公民館単位で実施しており、歩いて参加できる距離にある。現在、月1～2回の頻度で実施されている所が多い。</li> <li>• サロンでは、15分以上の運動を実施している。</li> <li>• 「元気アップ体操」のDVDを配布しており、指導士がいなくても実施できるようにしている。</li> <li>• 3～4か月毎に保健師がフォローしている。</li> <li>• サロンの運営費用については介護で予算化しているが、国保被保険者も参加できるため、コラボは可能と考える。（事業拡大については、予算化も必要）</li> <li>• 64歳以下の方も参加できる提案が必要。</li> </ul> <p>【高血圧予防のための減塩推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 食生活推進協議会は、各地区及び男性グループで活動している。</li> <li>• 食生活推進協議会では、塩分チェックシートを活用したことがないのでレクチャーする必要がある。来年、土橋先生（塩分チェックシート考案）の講演会を予定しているため、講演会とあわせて活用を図る。</li> <li>• 事業評価について検討が必要。</li> </ul>

ヒアリング項目	ヒアリング結果
<p>①地区別や年齢別等のデータ分析について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• データの出典等を明確にしてほしい。</li> <li>→ データの出典及び言葉の定義等については、今後まとめて記載する。</li> <li>• 糖尿病等のデータについて、「保健指導判定値」「受診勧奨判定値」を合わせたものが「有所見者割合」となるので、折れ線グラフを削除し、積み上げのグラフで示して欲しい。</li> <li>→ 積み上げグラフに変更する。</li> </ul>
<p>②保健事業の提案内容についての実現可能性や方向性について</p>	<p>【糖尿病性腎症重症化予防における庁舎内での情報共有の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1つの課の中に、国保・後期・介護があり、連携を図っている。</li> <li>• 障がい者福祉部門と連携を図り、透析台帳を共有し原因等を把握し管理している。透析になった後の連携・共有はできている。</li> <li>• 保健センターが中心になり情報発信している。保健センターにおいて、レセプト・健診情報を確認しており、国保部門では予防に関するデータまでは把握していないため、予防に活かせる情報共有ができていない。</li> <li>• 糖尿病で治療している者は健診を受けている人が多い。</li> <li>• KDBデータや検査データのどの部分を確認すると病期が分かるのかが不明。</li> <li>→ 尿たんぱくとGFRで階層化は可能。</li> </ul> <p>【糖尿病性腎症重症化予防における医療機関等との連携の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 医師会と定期的に会議を行い意見交換をしている。</li> <li>• 医療機関と連絡票を用いて、重症化予防のための体制をとっているが、実際の活用が少ない状況。</li> <li>• 糖尿病専門医の医療機関では栄養士による指導が行われている。</li> <li>• かかりつけ医との連携を図るために、情報を正確に示し、患者の病状を再確認して頂く必要がある。</li> <li>• かかりつけ医や専門医等に状況を理解してもらい、事業に積極的に参加いただけるようなデータを示す必要がある。</li> <li>• 提供データについては、今後町で作成できる形に整理する必要がある。</li> </ul>



#### (4) 事業提案説明会

各調査対象団体の状況について情報共有を行い、自市町において活用できるデータ分析や保健事業の把握と、その活用による各団体の更なる保健事業の充実を図ることを目的として実施した。

調査対象 団体	市町の意見・感想
①大牟田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の人員不足の現状を考慮した事業提案となっている。</li> <li>・今回の事業提案に用いたKDBデータや分析資料、アンケート材料等を活用した具体的な資料（掲示物やその掲示物のデータ）を提供いただきたい。</li> <li>・本事業の提案を受け、市で実施する方向で検討中である。</li> <li>・地域包括ケア担当部門等、国保以外の部門とも連携し、一緒に取り組んでいきたい。</li> </ul>
②中間市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は広報物等に情報を詰め込んでしまう傾向があるため、分かりやすくコンパクトに説明できる資料作成が大切と感じた。今回の提案を受け、今後見直しを検討する。</li> <li>・サロンは現在、まちづくり協議会が主体となって実施しているが、今後は介護部門と協議しながら国保部門も携わっていきたいと考えており、今後の協議資料として活用したい。</li> <li>・本事業提案については、今後実施する方向で検討する。</li> </ul>
③小郡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業提案を受け、関係各課で実施できること、取り組めることを検討し、実施していきたい。</li> <li>・本事業の分析結果について、庁舎内で共有したい。</li> <li>・保健師の地区担当制を検討しており、地区等の特徴を知る上で参考になった。</li> </ul>
④須恵町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を実施する際、評価して改善することが出来ていなかったが、今回の提案では評価指標も示されておりPDCAにつながる提案であると感じている。</li> <li>・今回の分析は、校別に示されており、被保険者に働きかける際、他人事ではなく、自分の事として考えさせるきっかけを与える事ができるため、活用しやすい。</li> <li>・地区ごとの差異が見える化されており、今後の保健事業に役立つ。</li> <li>・本事業提案を受け、実施する方向で検討する。</li> </ul>
⑤岡垣町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している事業の拡充として提案されているため、取り組みやすい。</li> <li>・今回の事業提案で提示される分析結果は、今後保健事業を実施していく際に活用できると感じている。</li> </ul>
⑥みやこ町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活推進協議会については、ボランティアで活動して頂いており、今後どの程度事業に協力頂けるか検討、協議していきたい。</li> <li>・KDBシステムについて、十分な活用ができておらず、本事業提案を受け、改めてデータ活用にむけた取組みの検討が必要だと感じた。</li> <li>・データヘルス計画では町全体としてとらえていた課題が、本事業提案により、地区ごとに明確化できた。</li> <li>・現在実施している事業と、本事業提案とのすり合わせを詳細に行い、実施に向けて検討する。</li> </ul>
⑦吉富町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師との連携や庁舎内の連携を行うための資料として活用する。</li> <li>・医師との連携については、被保険者の情報をかかりつけ医以外の医師に町が単独で提供することは難しいため、その資料の見せ方、提供の仕方について本事業で提案頂き、今後活用したい。</li> <li>・現在、京築版糖尿病性腎症重症化予防プログラムを保健所を中心とし作成中であり、参考としたい。</li> </ul>

